



# ヘルシンキの公共交通に乗って

群馬県 都市計画課 佐藤亜希子

皆さまこんにちは。本年度、吉岡町から人事交流派遣で群馬県都市計画課にお世話になっている佐藤と申します。

私は9月下旬、フィンランドの首都ヘルシンキに一人旅してきました。

フィンランドは北欧の中で最も東側にある国です。治安がとても良く、女性の一人旅でも比較的安心な国で、街のあちこちには洗練されたデザインがあふれています。

## トラムに乗って

市内では、トラムやバスが縦横無尽に走っており、どこに行くにも困りません。私はトラムのルートがわかりやすかったので、ちょっとした距離でもトラムを利用しました。

利用には、通常の切符もありますが、4日間乗り放題のデイチケットを購入しました。デイチケットはヘルシンキ内の公共交通に全て共通で、1日分8ユーロ、4日分だと20ユーロ、券売機やキオスク(コンビニ)で購入でき、それぞれの乗り物の中などにある機械に最初1回だけタッチして使います。乗る度にタッチする必要はありません。駅には電光掲示板があり、どのトラムが何分後に来るかが表示されているので、乗車時にやきもきしません。トラムの中では電光掲示板にフィンランド語とスウェーデン語が交互に次の停車地と行先を表示します。降車時は、日本のバスのようにボタンがあるのですが、駅ごとに停車するので使っている人は見かけませんでした。



上：ヘルシンキ市内を走るトラム。  
左中：デイチケット(何日分でも色は同じ)  
左下：トラムが来るまでの時間を示す電光掲示板。3番のトラムが3分後、14分後に来ることを示している。  
右下：デイチケットを十字の真ん中にタッチする。

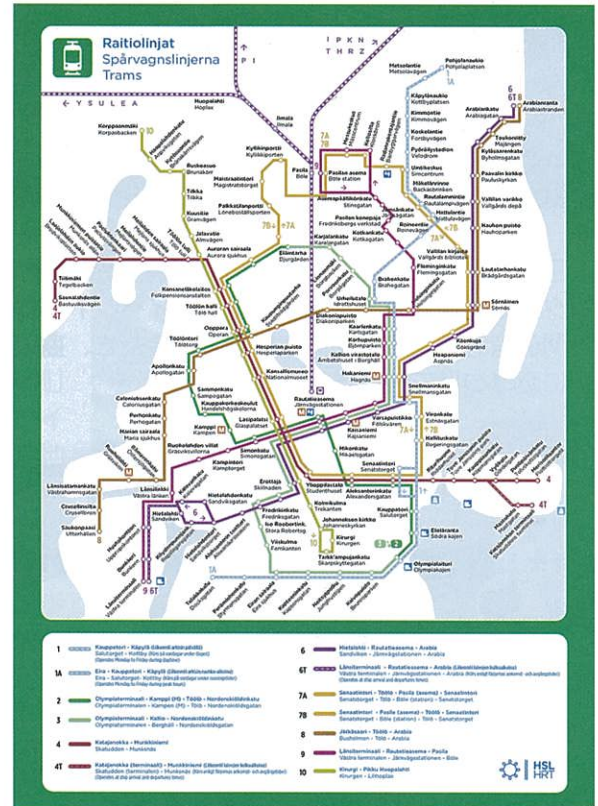
## その他の交通機関

ヘルシンキにはメトロ(地下鉄)も走っています。駅の表示は非常にシンプルでわかりやすく、乗車時に改札はありません。メトロのホームにもトラムと同じように次の車両が何分後に来るかが表示されています。

また、海に面しているヘルシンキでは、物価の安いエストニアの首都タリンにフェリーで渡り買い物をする人が多く、40ユーロ程度で往復でき、片道2時間で目的地に着きます。大量に買い物をするためか、車をフェリーに乗せて移動する人も多くいます。フェリーの中は非常に快適で、移動時間はあっという間でした。

数日間の短い滞在でしたが、公共交通を駆使しヘルシンキとタリンを存分に見て回ることが出来ました。また、外国には珍しくどの公共交通も定時で運行するので、日本人の感覚に非常に合うと感じました。残念ながら日本は地方部ほど公共交通が不便ですので、気軽に乗って各所に移動できるトラムを利用し観光したことは、とても刺激的な経験となりました。

※ 1ユーロ=約134円(平成27年9月末現在)



トラムとメトロのルートマップ (https://www.hsl.fi/ より引用)

